

第61回静岡県公衆衛生研究会 口頭発表

東部保健所管内の 結核患者の特徴と課題

東部健康福祉センター 地域医療課

松内 里歩

背景と目的:管内の特徴や課題の明確化と対策を見いだすこと

1. 既感染率が低い若年層の結核について、東部保健所管内の特徴や課題の明確化を図ること。
2. 結核患者全体の発生傾向を静岡県と比較することにより、地域の課題を見いだすこと。

東部保健所では若年層の結核が散見…なぜ？
管内の結核の発生状況も含めて分析してみよう！



対象

対象者

感染症サーベイランスシステムから出力した
東部保健所管内の結核新登録患者及び潜在性結核
感染症184名と静岡県と同952名

対象期間

令和2年1月1日～令和6年6月30日

方法

1. 静岡県と比較

性別、登録時年齢、国籍、職業、発見の経緯、菌量別

2. 若年層のリスト化

若年層について性別、登録時年齢、病型、菌量、国籍、職業、発見の経緯、保健所の関わり、支援者等

3. 管内外国人の分析及び聞き取り調査

- ①人口の年次推移、外国人比率、市町ごとの国籍
- ②外国人向け情報発信ツールや対応における課題



研究結果



結果: 静岡県と比較した東部保健所管内の状況

1. 年齢構成 29歳以下割合が低く、50歳代、70歳以上の割合が高い傾向

	東部保健所		静岡県		p値
	人数	割合	人数	割合	
10歳未満	4	2.2%	20	2.1%	0.828
10~19歳	0	0.0%	7	0.7%	0.514
20~29歳	15	8.2%	129	13.6%	0.058
30~39歳	9	4.9%	59	6.2%	0.607
40~49歳	11	6.0%	50	5.3%	0.825
50~59歳	20	10.9%	77	8.1%	0.275
60~69歳	15	8.2%	94	9.9%	0.556
70~79歳	45	24.5%	198	20.8%	0.313
80~89歳	51	27.7%	217	22.8%	0.179
90~99歳	14	7.6%	99	10.4%	0.306
100歳以上	0	0.0%	2	0.2%	0.735
合計	184	100.0%	952	100.0%	-

結果：静岡県と比較した東部保健所管内の状況

2. 職業 医療職・介護職の割合が有意に高い

	東部保健所		静岡県		p値
	人数	割合	人数	割合	
医療職・介護職	18	9.8%	52	5.5%	0.039
その他常用勤労者	23	12.5%	197	20.7%	0.013
乳幼児	4	2.2%	14	1.5%	0.706
無職	98	53.3%	516	54.2%	0.878
その他 ※1	41	22.3%	173	18.2%	0.229
合計	184	100.0%	952	100.0%	—

※1 その他には接客業、教員・保育士、小中高生、その他臨時雇、自営業、家事従事者、保育園・幼稚園、不明が含まれています。

結果: 静岡県と比較した東部保健所管内の状況

3. 発見の経緯 健康診断の受診による発見の割合が低く、医療機関受診での発見の割合が高い傾向

	東 部 保 健 所		静 岡 県		p値
	人 数	割 合	人 数	割 合	
健康診断等 ※2	19	10.3%	115	12.1%	0.582
接触者健診	14	7.6%	98	10.3%	0.325
医療機関受診	93	50.5%	417	43.8%	0.109
他疾患通院・入院中	54	29.3%	310	32.6%	0.442
その他	4	2.2%	12	1.3%	0.535
合計	184	100.0%	952	100.0%	—

※2 健康診断等には個別健康診断、定期健康診断が含まれています。

結果: 静岡県と比較した東部保健所管内の状況

4. 登録時の排菌結核患者の喀痰塗抹の菌量

排菌量の多い(3+)の状態で見られる患者の割合が高い傾向

	東部保健所		静岡県		p値
	人数	割合	人数	割合	
±(G1)	9	20.0%	54	21.8%	0.945
1+(G2)	10	22.2%	64	25.8%	0.747
2+(G3~G6)	12	26.7%	69	27.8%	0.983
3+(G7~G10)	10	22.2%	30	12.1%	0.113
菌量不明	4	8.9%	31	12.5%	0.662
合計	45	100.0%	248	100.0%	—

結果:若年層の結核患者について

東部保健所管内の若年層（29歳以下）19名の一覧

No	登録時年齢	病型	最大菌量	検体	国籍	職業	発見の経緯	使用薬剤	感受性	保健所の関わり	支援者
1	0	0	—	—	日本	—	コッホ現象	H	—	初回面接・訪問	
2	0	0	—	—	日本	—	コッホ現象	H	—	電話・メール・訪問	
3	0	0	—	—	日本	—	コッホ現象	H	—	訪問・電話・所内面接	
4	0	0	—	—	日本	—	コッホ現象	H	—	訪問・電話	
5	28	b II 2	G1	胃液	日本	接骨院・デイサービス	医療機関受診	HREZ	感受性有	初回面接・家庭訪問	
6	23	r III 1	G0	胃液	日本	理学療法士	職場健診	HREZ	感受性有	面接・電話	
7	23	b III 2	G0	喀痰	日本	臨床検査技師	医療機関受診	HREZ	不明	初回面接・電話	
8	28	0	—	—	日本	介護職員	接触者健診	H	—	訪問・電話	
9	24	r II 2 (CT)	G3	喀痰	日本	看護師	医療機関受診	HREZ	感受性有	訪問・電話	
10	28	r III 1	G0	喀痰	ミャンマー	介護職員	職場健診	HREZ	SM耐性	訪問・電話	
11	28	0	2+	膿	ネパール	製紙工場	医療機関受診	HREZ	不明	面接	友人
12	27	ℓ III 1 (CT)	G2	膿	ベトナム	工場勤務	医療機関受診	HREZ	—	所内面接・電話	技能実習生受入先・通訳者
13	22	ℓ III 1 ℓ p ℓ (CT)	G0	胸水	ベトナム	工場勤務	医療機関受診	HRE	不明	会社訪問・電話	通訳、会社事務
14	26	b III 2	G0	喀痰	インドネシア	工場勤務	職場健診	HREZ	感受性有	初回面接・受診時面接	派遣会社通訳
15	27	0	—	—	ネパール	パン工場	スクリーニング	H	—	初回面接・受診時面接・電話	
16	20	r III 2 (CT)	G0	喀痰	インドネシア	日本語学校学生	学校定期健診	HREZ	感受性有	訪問（学校）	日本語学校教師
17	22	b III 2	G0	喀痰	インドネシア	技能実習生	雇用時健診	HRE+LVFX	—	初回面接・訪問	国際総合技能育成協会
18	21	b II 2	G9	喀痰	ネパール	日本語学校学生	医療機関受診	HREZ	感受性有	所内面接・電話	日本語学校教師
19	20	b III 2 (CT)	G0	喀痰	ネパール	専門学校生	学校定期健診	HREZ	不明	訪問・電話	専門学校教師

結果:外国人人口の推移等

2. 国籍及び外国人人口

ミャンマー等東南アジア
諸国からの流入が増加

(1) 国籍

	東部保健所		静岡県		p値
	人数	割合	人数	割合	
日本	158	85.9%	726	76.3%	0.006
外国	23	12.5%	208	21.8%	0.005
不明	3	1.6%	18	1.9%	0.953
合計	184	100.0%	952	100.0%	—

(2) 外国人人口の推移

国籍	H25人数	H30人数	増加率/減少率
ミャンマー	3	111	36.00
ネパール	18	163	8.06
ベトナム	297	1,149	2.87
インドネシア	124	203	0.64
フィリピン	1,996	2,415	0.21
タイ	184	185	0.01
中国	1,536	1,439	-0.06
韓国	895	775	-0.13
ラオス	154	153	-0.01
インド	55	36	-0.35

結果：国際交流協会への聞き取り

各組織	状況
静岡県	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティの把握：なし・<u>情報発信のツール：日本語学校や企業へ聞く</u>・外国人への支援：医療費に不安を抱えている場合が多い。医療費が無料になることなどまずは説明してほしい。 <u>医療用語を含む日本語はわかるはずがなく、通訳は必要。</u> 医療通訳の派遣をしているが有料のため予算の確保必要。 <u>ベトナム、ネパールは急増しており、通訳者が不足。</u>
三島市	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティの把握：あり（ベトナム）・<u>情報発信のツール：三島メッセンジャー、フェイスブック</u>
清水町	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティの把握：なし・情報発信のツール：日本語教室を定期的で開催している（年間53回） 契約期間+ボランティア 月・金。長沢区と本長沢区、柿田区、清水西小に多い。・HPに関しては翻訳可能だが広報はやっていない。

考察

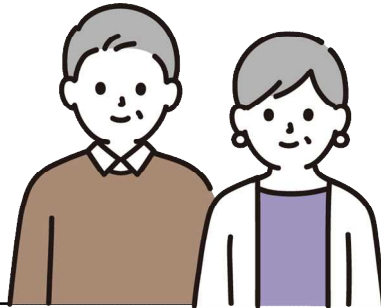
1

医療職、介護職
者に対する
罹患防止対策



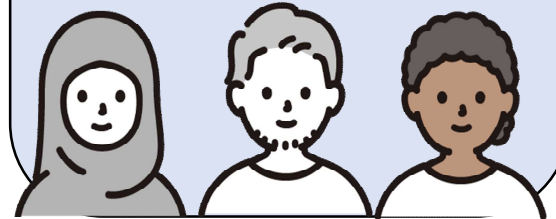
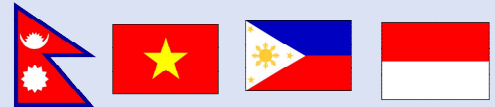
2

中高年
に対する
普及啓発



3

外国人への
きめ細やかな
対応



考察：医療職・介護職者に対する罹患防止対策

1. 医療職・介護職者に対する罹患防止の対策

- ・ 医療職・介護職の割合が有意に高い
- ・ 若年層では日本国籍 9 名の内、職業を持つ全員が医療職・介護職従事者

排菌量が多い状態で発見される患者の割合が高いことも関係？



院内感染対策の強化
曝露しやすいケア時の感染防止策の見直し

考察:中高齢者に対する早期発見の取組

2. 中高齢者に対する普及啓発

- ・ 50歳代と70歳以上の高齢者の割合が高い
- ・ 健康診断の受診による発見の割合は低く、
医療機関受診での発見の割合が高い→**症状出現後の発見?**
- ・ 排菌量の多い3+の状態で見発見される患者の割合が高い



**市町や職域団体と連携した
予防の普及啓発、健康診断の受診勧奨の強化**

考察:外国人へのきめ細やかな対応

3. 外国人へのきめ細やかな対応

- ・ ミャンマー、ネパール、ベトナム国籍の人口増加
- ・ 若年層の半数が外国籍患者
- ・ 日本語の医療用語の理解が困難



**情報を正確に伝え予防啓発すること及び結核の服薬支援には
日本語学校や外国人受入企業との連携が重要
医療通訳の派遣が必須**

謝辞

地域診断研修で御指導くださいました、
尾島先生、高杉先生、関係者の皆様に
感謝申し上げます。

